取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

MOBILIO

サイドリフトアップシート車

このたびはHonda車をお買い上げいただき、
ありがとうございます。
この取扱説明書は、 MOBILIO　サイドリフトアップシート車に
装備された専用機構の取り扱いについてのみ説明してあります。
その他の内容については MOBILIO 取扱説明書をご覧ください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています）

知 識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

もくじ

各部の名称……3

安全ドライブのための必読ポイント……4

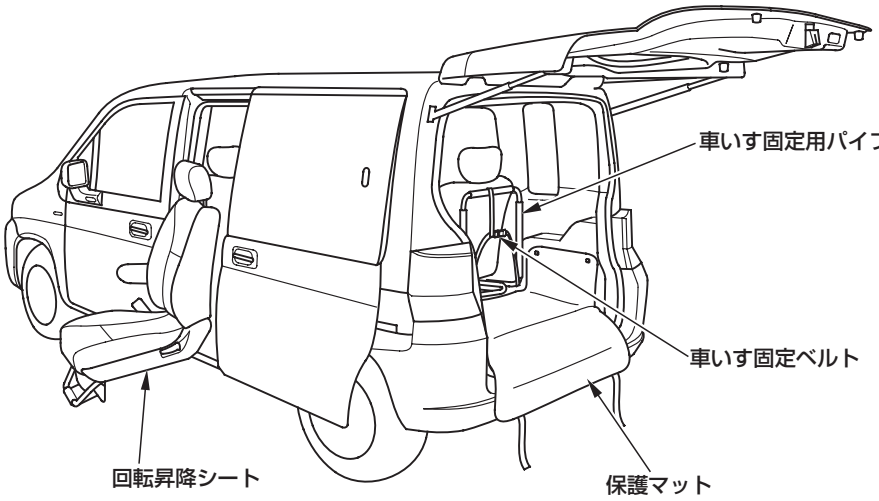
装備の使いかた
セカンドシート……6
シートベルトの種類……8
回転昇降シート……9
フットプレート……14
ブザーについて……15
車いすの収納のしかた……16
車いす固定用パイプの取り外し……19
固定ベルトの取り付け……20

点検整備について
点検整備方式……22
日常点検……23

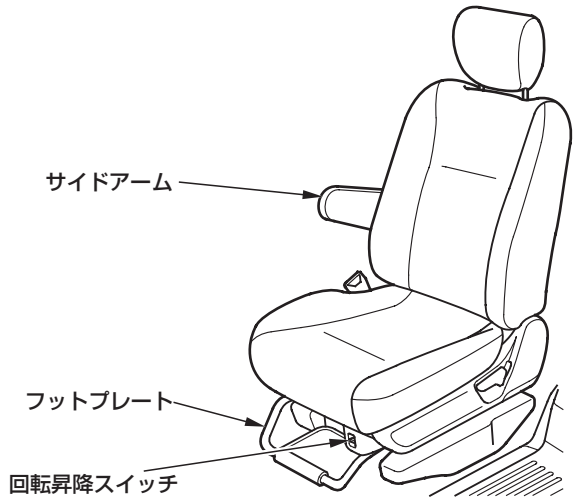
万一のとき
工具……24
保護マットの取り外し……26
標準タイヤを収納する……26
シートが回転、昇降できないとき……27

サービスデータ
サービスデータ……34
収納可能な車いすのサイズ……35

各部の名称



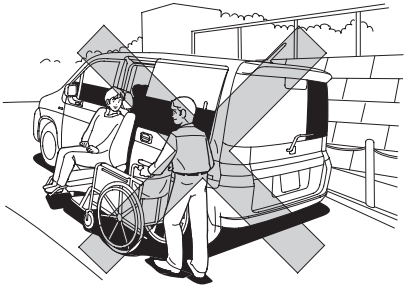
回転昇降シート



安全ドライブのための必読ポイント

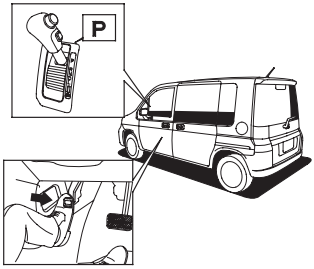
坂道での回転、昇降操作はしない。

- 回転、昇降操作は必ず平坦な場所で行ってください。
  坂道では、車や車いすが不安定になり、転倒や落下など思わぬけがをすることがあります。



回転、昇降操作するときは。

- セレクトレバーがPに入っていないと回転、昇降操作ができません。パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れて操作してください。

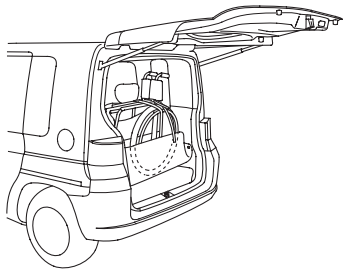


回転、昇降操作は介護者が行う。

- 回転、昇降操作は、道路状況や回転昇降シートの周辺にも注意し、介護する人が行ってください。
  回転、昇降操作を誤ると思わぬけがをすることがあります。

車いすは確実に固定。

- 必ず車いすのブレーキをかけてから、車いす固定用パイプに固定ベルトで固定してください。
  走行中車いすが不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



走行するときはシートベルトを必ず着用。

- 走行前に必ず、シートベルトを正しく着用してください。

装備の使いかた

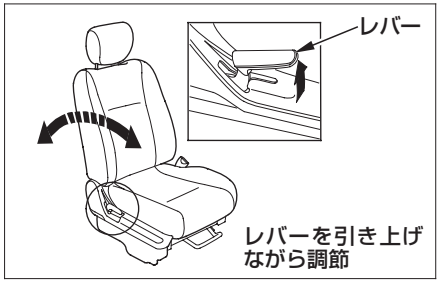
セカンドシート

知 識

- ISO FIXテザータイプチャイルドシート固定装置は装備していません。

●前後位置の調節（運転席側のみ）

●背もたれの調節

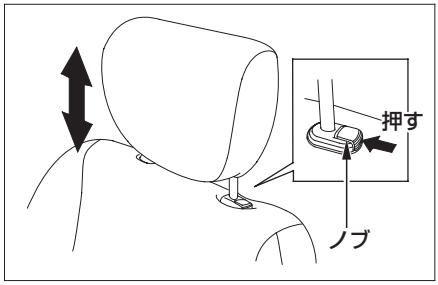


●ヘッドレストの調節

走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。
背が高い人は、固定出来る範囲で一番高い位置にしてお使いください。

▼

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。
低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

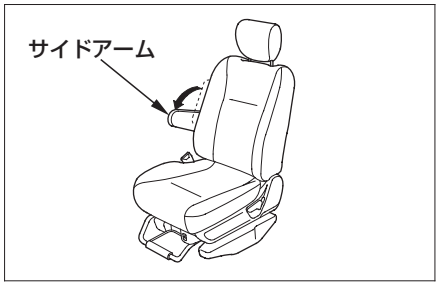


⚠警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。
  衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
  走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●サイドアーム(回転昇降シート)

前に倒して使用します。
回転、昇降操作中は、前に倒しておいてください。



⚠注意

- シートベルト着用時にサイドアームに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
  シートベルトは正しく着用してください。

アドバイス

- サイドアームに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。サイドアームが破損するおそれがあります。

シートベルトの種類

シート		シートベルトの種類
フロントシート		ELR付三点式シートベルト
セカンドシート	左	ELR付三点式シートベルト
	右	ELR・ALR付三点式シートベルト

ELR付三点式シートベルト：
体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト：
通常はELRシートベルトとして機能します。
ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

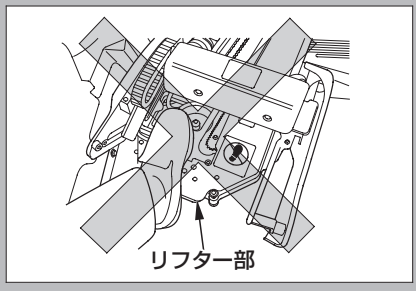
チャイルドシート固定機構付きシートベルト　→MOBILIO取扱説明書

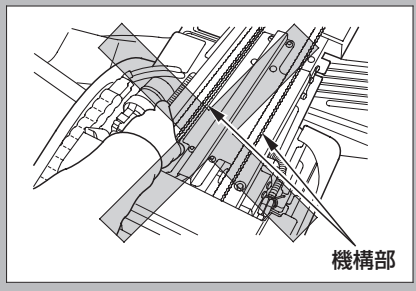
回転昇降シート

セレクトレバーが回のとき回転、昇降操作できます。

⚠注意

- 回転昇降シートの操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
  - シートの回転、昇降は平坦な場所で、周囲の安全を十分確認してから行ってください。
  - パーキングブレーキをかけてください。
  - シートを操作する前に、シート下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。
  - 回転操作や昇降操作は、介護する人が行い、手や足などをはさんだりぶつけたりしないように十分注意してください。
    また、お子さまには操作させないでください。
  - リフター部にのらないでください。
    また、回転昇降シート作動時は、機構部に近づかないでください。はさまれたり、まきこまれたりするおそれがあります。





回転昇降シートには、チャイルドシートを取り付けないでください。このシートでチャイルドシートを使用することはできません。

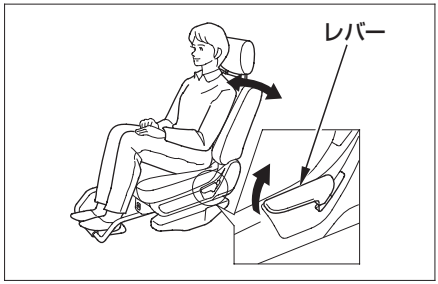
知 識

- この回転昇降シートの最大回転、昇降能力は、100kgです。
  これを越えての回転、昇降操作は、故障の原因となります。
- 回転操作や昇降操作をするときは、スライドドアをいっぱいに開けてから行ってください。
  マニュアルスライドドアはストッパーで固定させ、ドアの自重で閉まらないようにしてください。
- 回転昇降シートが前向きで固定されていないと、ブザーが鳴り、セレクトレバーをPの位置から他の位置へ切り換えられません。シートが完全に停止する位置まで回転昇降スイッチの操作を行ってください。

●シートの降ろしかた

①シートベルトが外してあることを確認します。

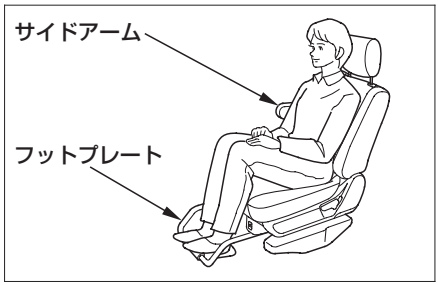
②シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれが車体にあたらないようにレバーを引き上げながら背もたれの角度を調節します。



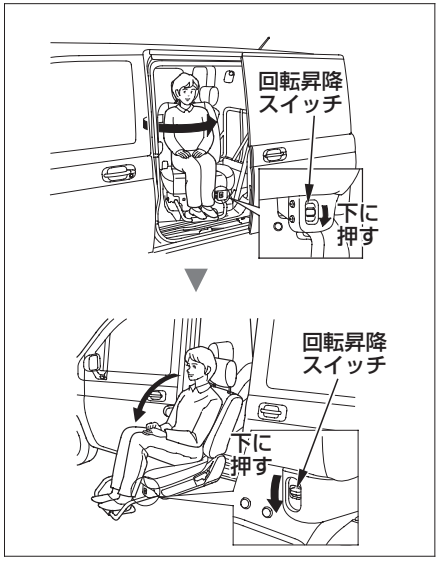
③サイドアームを前に倒します。このとき座っている人の体がサイドアームの内側にあることを確認してください。

④フットプレートを前に引き出して足を乗せます。

フットプレート →14ページ



⑤回転昇降スイッチを下に押すとシートが回転、降下します。
シートが完全に停止する位置まで回転、降下したらスイッチから手を離します。
スイッチを下に押している間、シートは回転、降下します。
また、途中でスイッチから手を離せばその場で停止させることができます。

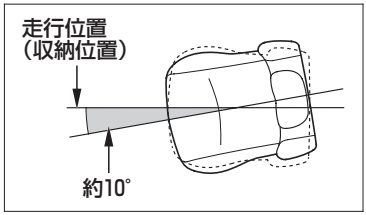


⚠注意

- シートを回転、昇降するときは、回転昇降シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

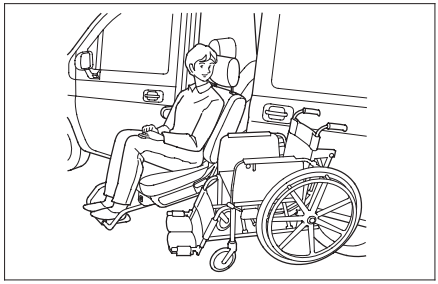
知 識

- シートが走行位置(収納位置)から約10°の範囲内にあるときに、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けます。



- シートが回転しているときは、スイッチを下に押すと反時計回り、スイッチを上に押すと時計回りに回転します。

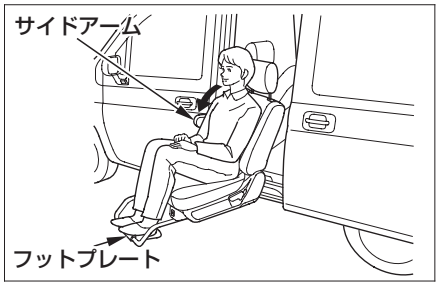
⑥車いすなどに乗り換えます。



●シートの上げかた

①フットプレートを前に引き出し、シートの回転時や昇降時に座っている人の頭や背もたれなどが車体にあたらないように背もたれの角度を調節します。
車いすなどから乗り換え、サイドアームを前に倒します。このときシートに座っている人の体がサイドアームの内側にあることを確認してください。

フットプレート　→14ページ



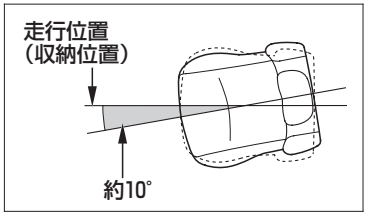
②回転昇降スイッチを上に押してシートが完全に停止する位置まで上昇、回転させます。
スイッチを上に押している間、シートは上昇、回転します。
また、途中でスイッチから手を離せば、その場で停止させることができます。
シートが完全に停止する位置まで上昇、回転させたらスイッチから手を離します。

⚠注意

- シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。
- シートが走行位置(収納位置)に戻らないときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

- シートが走行位置(収納位置)から約10°の範囲内にあるときに、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けます。



- シートが回転しているときは、スイッチを下に押すと反時計回りに、スイッチを上に押すと時計回りに回転します。
- シートが走行位置(収納位置)に戻っていないときは、ブザーが鳴り、セレクトレバーを操作することができません。

ブザーについて →15ページ

- 故障などにより、シートが走行位置(収納位置)に戻っていないときは、セレクトレバーを操作することができません。シフトロックを解除してください。

→MOBILIO取扱説明書

●はさみ込み防止機構

シートを回転しているときに、異物のはさみ込みを検知すると、はさみ込み防止機構が作動し、自動的にシートが反転します。

このとき、ピピピピピピという音が鳴ります。反転作動は連続 4 回まで行います。5 回目以降は反転せず、通常の回転をします。このとき、ピピピーという音が回転終了まで鳴りつづけます。

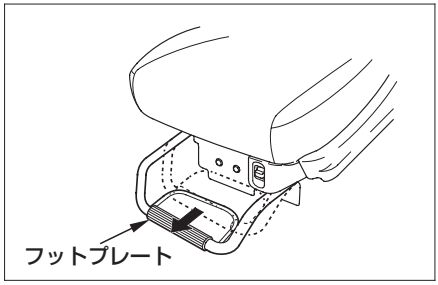
⚠注意

- はさみ込み防止機構は、万一のときに、乗員や介護者が車体にぶつかったり、はさまれたときに、重大な傷害を受けるのを防ぐためのものです。はさみ込みを検知できない領域があります。シートを回転昇降する前に周囲の安全を必ず確認してください。

フットプレート

前に引き出して使用します。

乗車後は足を床におろし、フットプレートを収納してください。



アドバイス

- フットプレートに体重をかけたり、ステップの代わりにしないでください。フットプレートが破損するおそれがあります。

ブザーについて

回転昇降シートは、状況によりブザーが鳴ります。ブザーの鳴りかたは下記のようになります。

鳴りかた	鳴るとき	対処のしかた
ピピピッ	シートが走行位置(収納位置)から約10°の範囲内で、回転昇降スイッチから手を離したとき	シートが完全に停止する位置まで回転昇降スイッチの操作を行ってください
ピピピピピピ	はさみ込み防止機構が作動し、自動的にシートが反転したとき はさみ込み防止機構 →14ページ	異物を取り除いてください
ピピピー	はさみ込み防止機構が作動し、反転動作が連続 4 回行われ、その後通常回転に戻ったとき はさみ込み防止機構 →14ページ	異物を取り除いてください シートが完全に停止する位置まで回転昇降スイッチの操作を行ってください
ピーピーピー	セレクトレバーがP以外で、ドアが開いている状態でスイッチを操作したとき	セレクトレバーをPにしてください
ピー…ピー…	シートが完全に戻っていない状態で電源を一旦切った後に復帰させたとき(ヒューズを交換したときなど)	回転昇降スイッチを押してシートを完全に戻してください

車いすの収納のしかた

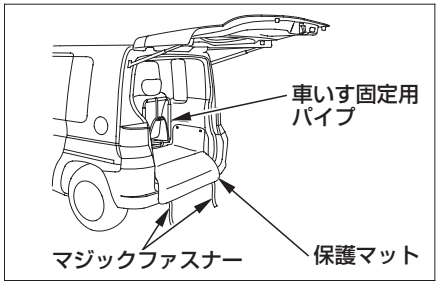
●車いすを収納するとき

①テールゲートを開けます。

②回転昇降シートの背もたれを一番起こした位置に調節します。

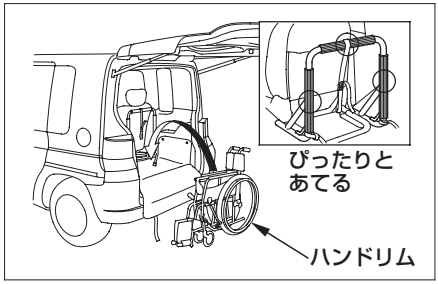
セカンドシート　→6ページ

③保護マットを引き出し、バンパーにかぶせます。



④車いすを折りたたみ、車いすのブレーキをかけてください。

⑤車いすを横向きにのせます。このとき車いす固定用パイプのラバーの上、左、右の3か所に、車いすのハンドリムをぴったりとあててください。また、車いすの後輪は車体右側のライニングにあててください。

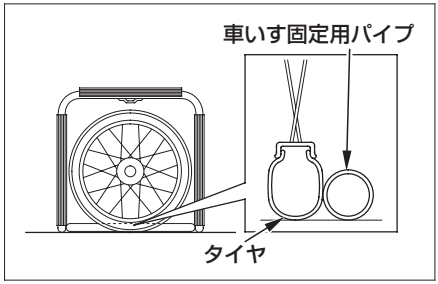


知　識

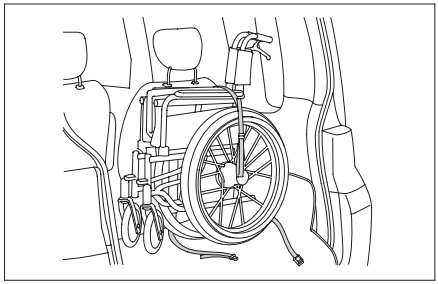
- 車いすは折りたたんだ状態では少し上開きになっているので、固定パイプと平行にあたるようにのせてください。

介護用車いすの場合

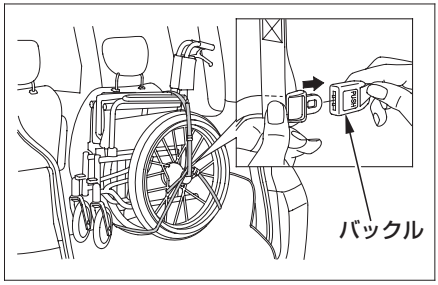
タイヤを車いす固定用パイプの枠の中にはめます。タイヤの下側はパイプの下部分にぴったりとあててください。



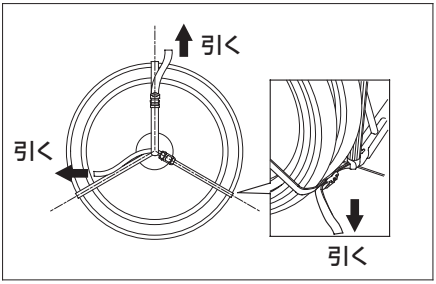
⑥車いす固定用パイプについている 3 本の固定ベルトを上、右、左の 3 か所から手前に出します。



⑦車いすを固定ベルトで図のように固定します。上のベルトの輪の中に左のベルトを通し、右のベルトのバックルにはめ込みます。



⑧バックルが図のように車輪の中心近くに来るように右ベルトの端を引いて長さを調節します。車いすを固定パイプの方へ軽く押しつけながら、左ベルトと上ベルトの端を引いてベルトを締めます。

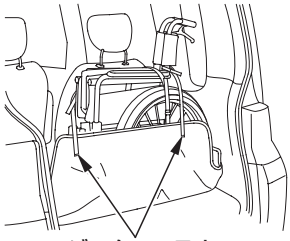


ベルトを締め終わった状態で、ベルトがタイヤをほぼ 3 等分する位置にあるか確認してください。

知 識

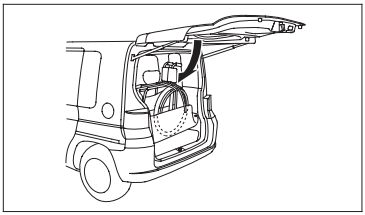
- 左右のベルトは最初にお使いになるときに長さを調節すれば、その後は上ベルトの調節だけで車いすを固定できます。

⑨保護マットを車いすにあてながら、マジックファスナーで車いすに固定します。



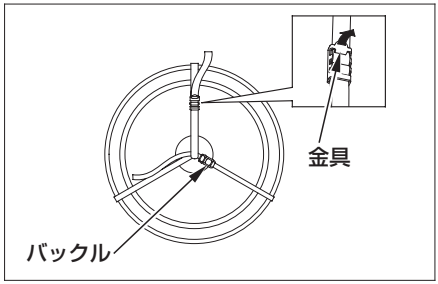
知 識

- 車いすがぐらついたり、固定ベルトがきついときは、固定ベルトの長さを調節してください。
- 車いすを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- テールゲートを閉めるとき、車いすにテールゲートが接触しないように注意してください。
  車いすがテールゲートにはさみ込まれると変形する可能性があります。



●車いすを車から取り出すとき

上ベルトについている金具を起こすと、ベルトがゆるみます。ベルトをゆるめてから、バックルのボタンを押してベルトを外してください。



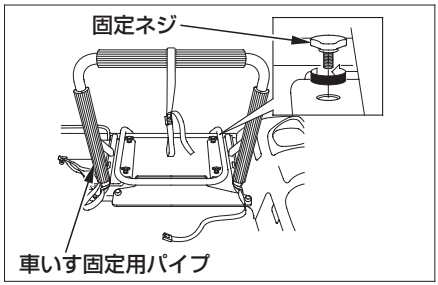
車いす固定用パイプの取り外し

カーゴスペースに荷物を積むときなどのために、車いす固定用パイプを取り外すことができます。

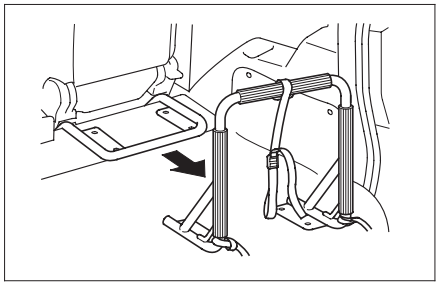
⚠注意

- 車いす固定用パイプの取り外しかたを誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。
  - ・パーキングブレーキをかけて、必ずエンジンを止めてください。

①プレート部の固定ネジ（4個）を取り外します。



②車いす固定用パイプを後方に引き出して取り外します。



③取り外した固定ネジ（4個）を元の位置に軽く締め付けます。

●車いす固定用パイプを取り付けるとき

取り付けるときは、逆の手順で行います。

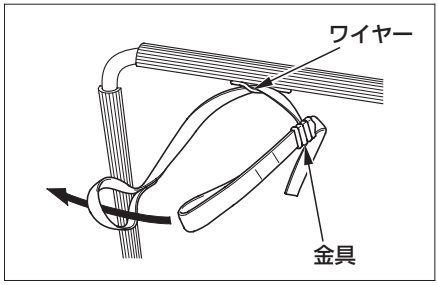
⚠注意

- 固定ネジを確実に締め付けてください。固定ネジがゆるむと、固定用パイプが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

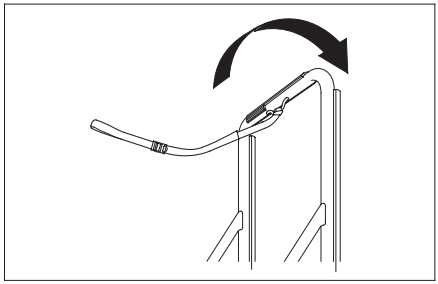
固定ベルトの取り付け

車いす固定ベルトを取り外し、再度取り付けるときは以下の手順で取り付けてください。

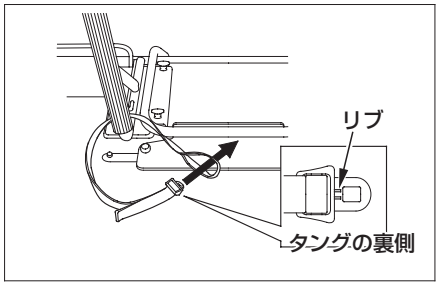
①パイプ本体とワイヤーの間に上ベルトを通し、ワイヤーにベルトをしばり付けます。このときベルトの金具が正面を向くように取り付けてください。



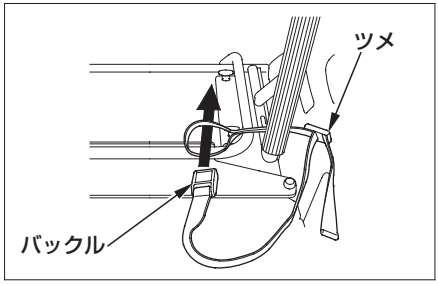
②しばった後はパイプの上を回してベルトを下へ垂らします。



③左ベルトを図のように取り付けます。タングには表裏があります。裏側にはリブがついています。表側が車両の後ろ側を向くように取り付けてください。



④右ベルトを図のように取り付けます。金具のツメを外側に向け、バックルの赤ボタン面が車両の後ろ側から操作できる向きに取り付けてください。



点検整備について

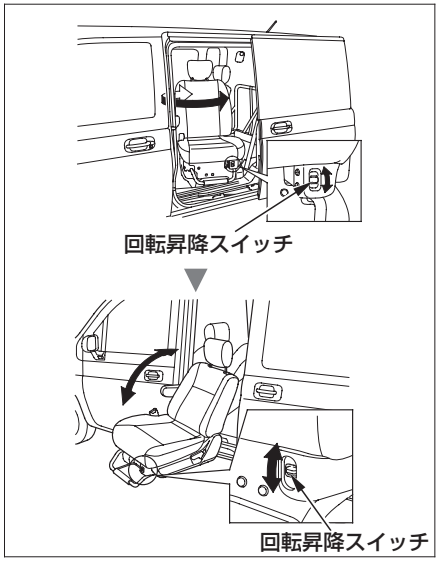
点検整備方式

点検整備項目		点検時期			交換時期（年）	備考
		日常点検	12か月ごと	24か月ごと		
回転昇降シート部	回転／昇降スピード、異音	○				
	各取付部の緩み、がた、損傷		○	○		
	ブザーの作動	○				

日常点検

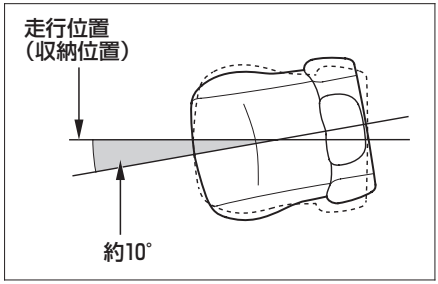
日常の回転昇降シートの使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検です。

●回転、昇降スピード・異音の点検
回転昇降スイッチを押してシートを回転、昇降させ、スピードが著しく遅くないか、異音がないかを点検します。



●ブザーの作動の点検
回転昇降スイッチを操作して、下記のようにブザーが鳴ることを点検します。

シートが走行位置(収納位置)から約10°の範囲内にあるときに、回転昇降スイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けること。

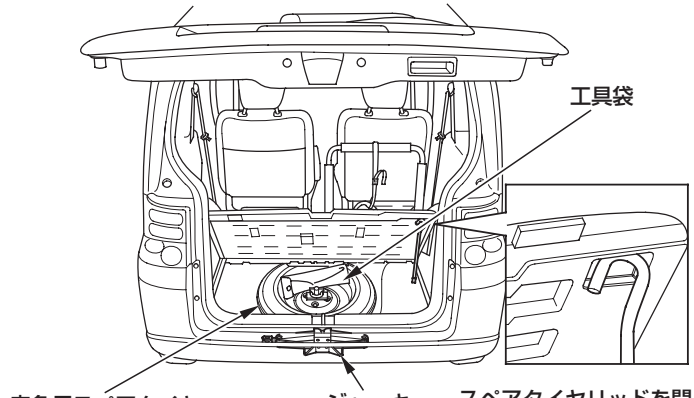


万一のとき

工具

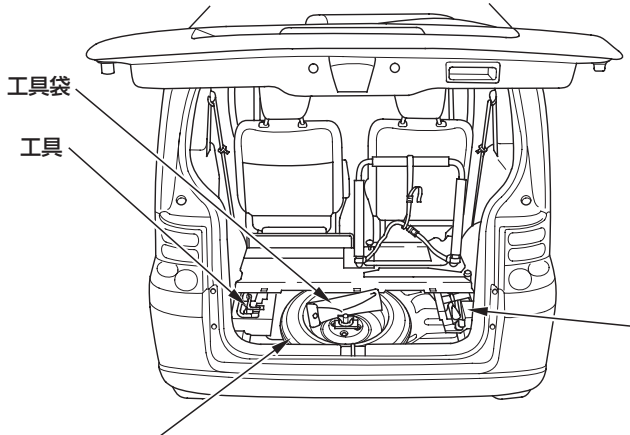
●格納場所

2WD



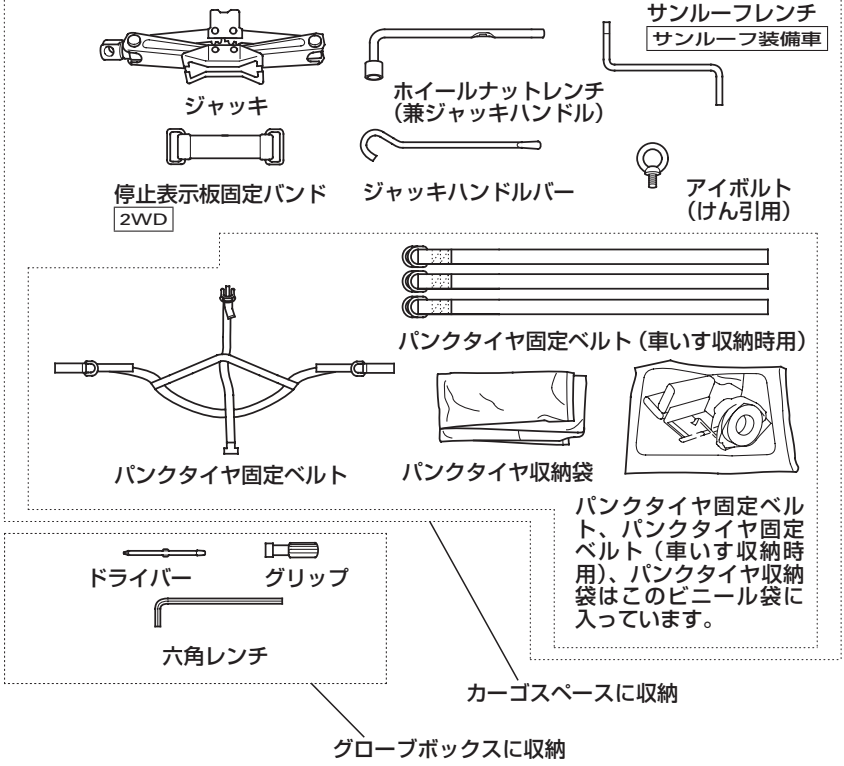
スペアタイヤリッドを開けるときは、ジャッキハンドルバーをステー代わりとして、図のようにかけます。

4WD



工具類を取り出すときは、スペアタイヤリッドを取り外します。

●工具の種類

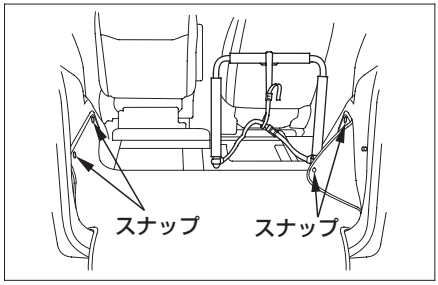


知 識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

保護マットの取り外し

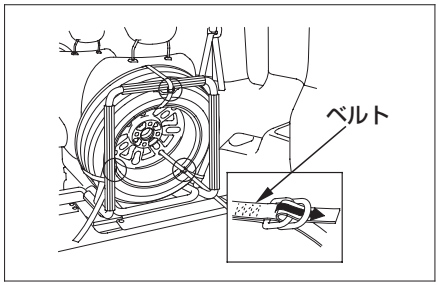
応急用スペアタイヤや工具を取り出すときは保護マットを取り外します。
スナップを 4 か所外します。



取り付けるときは逆の手順で行います。

標準タイヤを収納する

車いすを収納しているときは、パンクタイヤ固定ベルト(車いす収納時用)を使って、パンクした標準タイヤを固定パイプに固定します。
パンクした標準タイヤのホイール穴にベルトを通します。
タイヤがぐらつかないようにベルトで車いす固定用パイプに締め付けます。



⚠注意

- ベルトを確実に締め付けてください。ベルトがゆるむと、タイヤが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートが回転、昇降できないとき

シートが回転、昇降できないときは、車のバッテリーを点検してください。
バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れやブレーカーの作動が考えられます。

①エンジンルーム内のヒューズボックスから回転昇降シートのヒューズを外します。

②ヒューズが切れていないかを点検し必要に応じて、ヒューズを交換します。

③ **シートが昇降できないとき**
ヒューズが切れていないときは、ブレーカーのスイッチを最後まで押し込み、復帰操作をします。

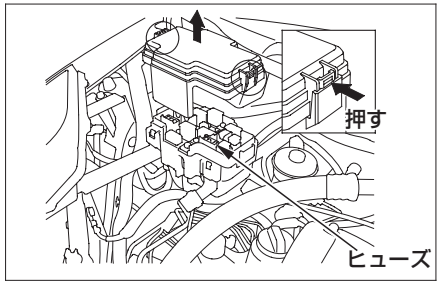
→29ページ

知 識

- 昇降用モーターには、保護機能としてブレーカーを装備しています。モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、モーターが止まることがあります。復帰操作を行うと使用できるようになります。

●ヒューズの点検、交換とブレーカーの復帰

エンジンルーム内のヒューズボックスの位置

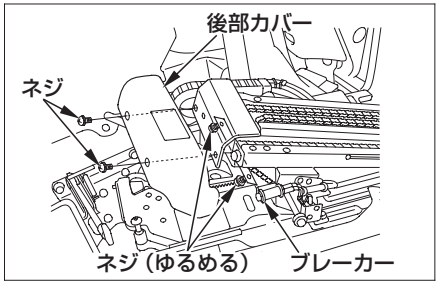


・ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
15	SEAT LIFTER	回転昇降シート	30A

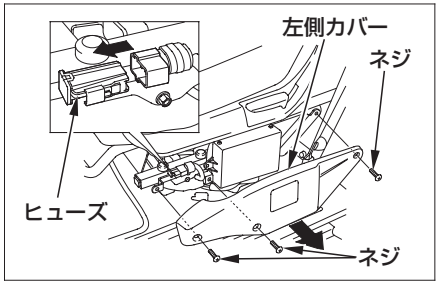
回転昇降シートのブレーカーの位置

ブレーカーは後部カバーの内側にあります。



室内の回転昇降シートのヒューズの位置

ヒューズは左側カバー前部の内側にあります。



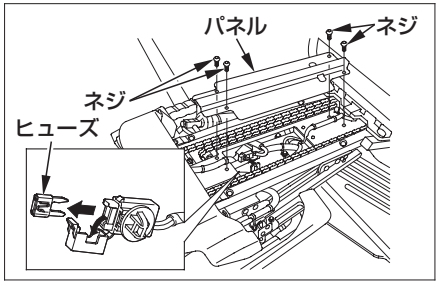
ヒューズ規定容量：25A

リモコン用の回転昇降シートのヒューズの位置 リモコン（販売店装着）装備車

ヒューズは回転昇降シートの下のパネルの内側にあります。

①回転昇降シートを１番下（停止する位置）まで降ろします。

②ネジ（４か所）を外してパネルを外します。

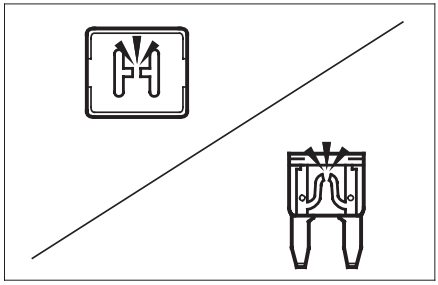


③ヒューズが切れていないかを点検します。

④必要に応じてヒューズを交換します。

ヒューズ規定容量：7.5A

ヒューズが切れているとき



表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

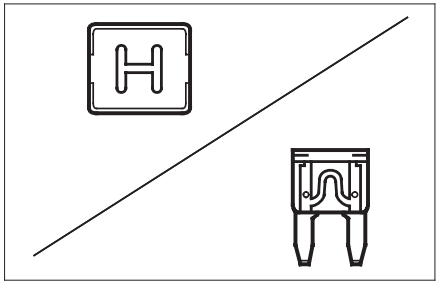
アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。
  配線コードなどを焼損させる原因となります。

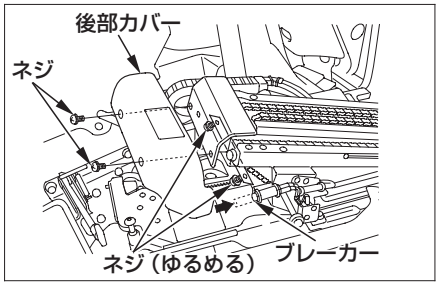
知 識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



ヒューズが切れていないのに、シートが回転、昇降できないときは、ブレーカーの復帰操作をします。
ブレーカーのスイッチを最後まで押し込みます。



ブレーカーの復帰操作をしても、シートが回転、昇降できないときは装置の故障が考えられます。
Honda販売店へご連絡ください。

→30ページ

●手動格納のしかた

装置が故障した場合は、Honda販売店へご連絡ください。もし、連絡ができない場合は、次の方法で回転昇降シートを手動で格納してください。
手動格納するにはシートを上げる作業と回転させる作業を別々に行います。

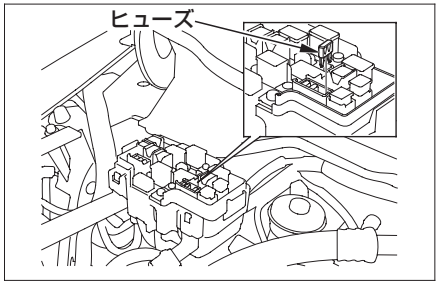
⚠注意

●手動格納の作業を行うときはシートの可動部分に手などをはさまないように十分注意してください。

シートを手動で上げるとき

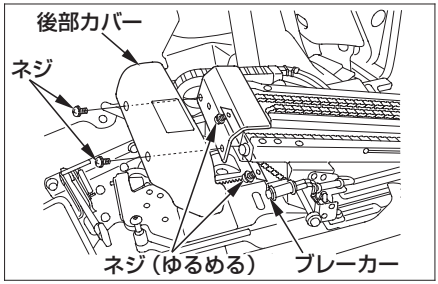
シートが昇降している途中で動かなくなったときは、シートを上げる操作をします。

①エンジンルーム内のヒューズを外します。

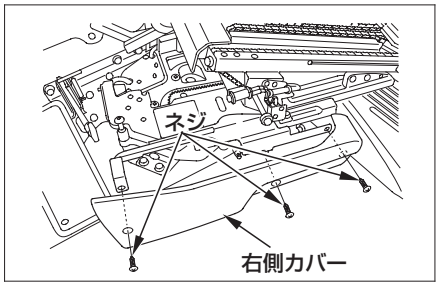


→27ページ

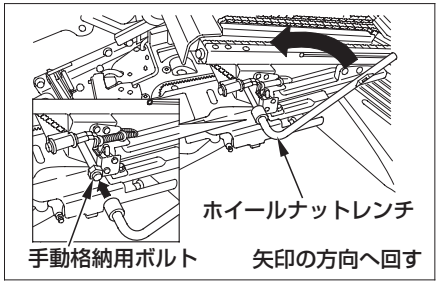
②ネジ(2か所)を外し、後部カバー下部のネジ(2か所)をゆるめて、後部カバーを取り外します。



③右側カバーをネジ(3か所)を外して、取り外します。



④回転昇降シート右側にある手動格納用ボルトの位置を確認します。
ホイールナットレンチで手動格納用ボルトを矢印の方向へ回して、回転昇降シートを一番上(カチッと音がする)まで動かします。



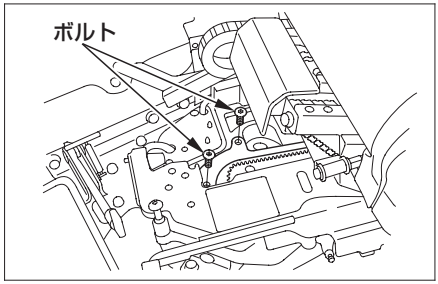
⚠注意

- ホイールナットレンチで手動格納用ボルトを回すときは、レンチがボルトから外れたり、手をはさまないように十分注意してください。

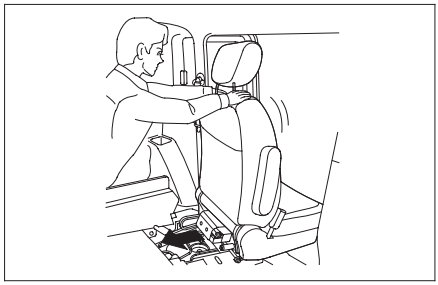
知 識

- ホイールナットレンチはゆっくり回してください。

⑤ボルト(2か所)を外します。



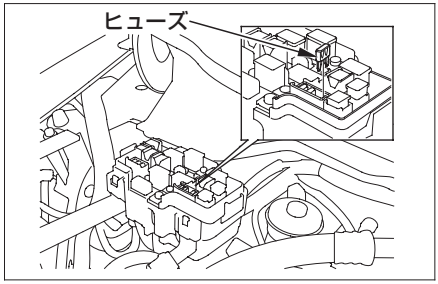
⑥回転昇降シートを前後にゆすって、回転昇降シートのシートロックを解除します。
シートロックを解除したら回転昇降シートを後ろへ動かします。



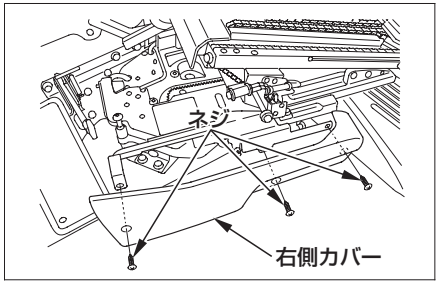
シートを手動で回転させるとき

シートが回転している途中で動かなくなったときは、シートを回転させる操作をします。

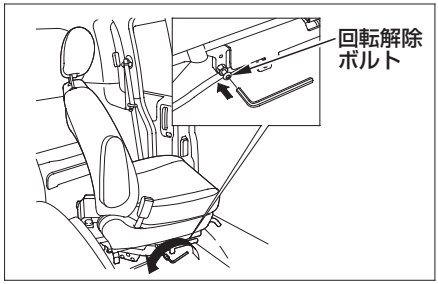
①エンジンルーム内のヒューズを外します。



②右側カバーのネジ(3か所)を外して、取り外します。



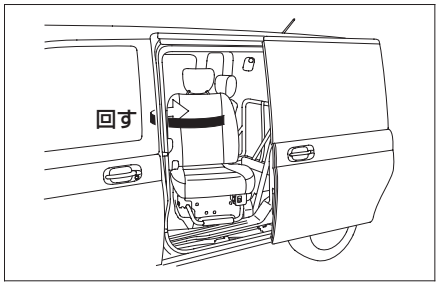
③回転解除ボルトの位置を確認します。六角レンチで回転解除ボルトを矢印の方向へ回し外します。



⚠注意

- 回転解除ボルトを回しているときにシートを押すと、シートが回転し手などをはさむおそれがありますので十分注意してください。

④回転昇降シートを回転方向へゆすり、手動で回転できるようにします。
⑤回転昇降シートを収納方向へ止まるまで回転させます。



知 識

- 手動で回転させると、走行位置（収納位置）まで戻りません。

⑥なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

⚠注意

- 回転昇降シートを手動格納したときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

- 回転昇降シートを手動で回転し格納したときは、セレクトレバーが操作できません。シフトロックの解除をしてください。

→MOBILIO取扱説明書

サービスデータ

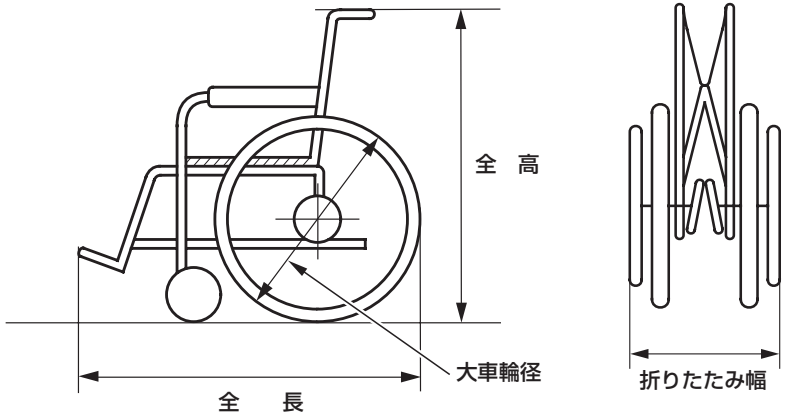
サービスデータ

項　　目	サ ー ビ ス デ ー タ
最大回転、昇降能力(kg)	100
乗車定員(人)	4

収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすのサイズは下表のようになっていますので、車いすを購入されるときに、あらかじめ確認してください。なお、下記条件を満たしている場合でも形状によっては搭載のできない車いすがあります。

項目　　タイプ	自走式、介護式
大車輪径（インチ）	24以下
全高（mm）	980以下
全長（mm）	990以下
折りたたみ幅（mm）	320以下



HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30SHG611
00X30-SHG-6110

©2004 本田技研工業株式会社